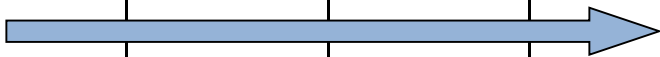


平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 6月20日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 岡本・森
				社協	—

基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	1	地域福祉の考え方を広げよう	施策の細目	①	地域住民の理解を促す機会づくり	
取り組み内容	1	「まちづくり出前講座」の中に地域福祉に関するテーマを設け、各地域へ出向いて、市民への意識啓発を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市	実施				

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	「地域福祉を推進しよう」をテーマに「まちづくり出前講座」に登録を行い、出前講座リーフレット及び市ホームページに掲載し、周知を行った。 H23年度 15,000部配布 市内小学校・中学校・地区公民館・公民館・各支所・行政センター・市役所各課・総合教育センター	登録H21～ 実績 なし	・出前講座プログラムとしては周知できたが、団体等からの申込みがなく、開催までは至っていない。
2			
3			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

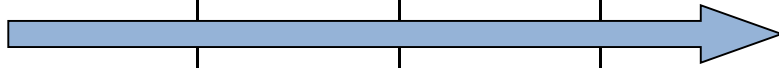
No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	広報媒体を広げる。(広報させば、地域福祉アンケート調査時等)	広報媒体数 (2→5)	50
【2】	引き続き周知を行い、出前講座への参加団体を増加させる。	参加団体数 0団体→3団体	50
【3】			
【4】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 6月20日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 岡本・森
				社協	地域福祉課 松永・川尻

基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう				
基本施策	1	地域福祉の考え方を広げよう	施策の細目	①	地域住民の理解を促す機会づくり
取り組み内容	2	市民が地域福祉について身近に感じ、よりわかりやすく理解するための講演会や研修会を実施します。			
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度
	市 社協	実施			

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	地域福祉講演会 【H22.3.4】 アルカスSASEBO 講師：藤井 博志氏（神戸学院大学）	参加者数 240人	・講演だけでなく、活動の事例発表など内容の工夫が足りなかった。 ・「地域福祉」単独のテーマでは、関係者（福推協、民児協）以外の一般市民の参加は少なかった。
2	ミニ地域福祉講演会 【H22.10.15】 佐世保市役所黒島支所 講師：山本 主税氏（長崎国際大学）	参加者数 32人	・参加者へアンケートをとっていないため、良かったかどうかの検証ができていない。
3	地域福祉講演会（世知原地区福推協共催） 【H23.3.5】 世知原社会福祉センター 講師：中野 信彦氏（長崎ウエスレヤン大学）	参加者数 77人	・参加者へアンケートをとっていないため、良かったかどうかの検証ができていない。 ・地域で実施されている活動（サロン、仲間づくり）について周知できた。
4	地域での行事（サロンや食事会等）に参加した際、地域福祉計画の周知に加え地域福祉の考え方を説明した。	20回	・地域福祉計画のPRに加え、福推協や社協について周知ができた。 ・時間が限られているため、説明できる内容は限られる。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法


No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	市町連との協働による地域福祉講演会を実施する。 （震災から学ぶ地域福祉をテーマにした内容を検討）	参加者数 240人→600人	60
【2】	地区担当者が、福推協総会・定例会、生涯学習推進協議会等に出席して、地域福祉についての説明を行う。	実施地区数 0地区→33地区	30
【3】	保健・医療・福祉審議会で、地域福祉に関する進捗状況の説明を行う。	実施回数 0回→1回	10

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容
【1】	関係者だけでなく、一般市民の参加が増えるような内容、広報などの工夫。

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 6月20日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 岡本・森
				社協	地域福祉課 松永・川尻

基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	1	地域福祉の考え方を広げよう	施策の細目	②	広報手段の活用・充実	
取り組み内容	4	ホームページでの地域福祉に関する情報の充実を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	整備	更新			

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	H21年12月に社協ホームページを開設し、地域の福祉活動に関する情報を掲載した。	H22 2地区	・周知が不十分であった。 (社協だよりのみ) ・情報の更新が不定期である。
2	市ホームページに地域福祉の推進に関するコンテンツを設け計画や委員会などの情報を掲載した。	H21-6回 H22-5回	市域全体に関わる包括的方針が地域福祉推進委員会において決定されていく過程が周知できた。
3	地域福祉に関するアンケートを実施し、市ホームページで掲載。 対象者：市内在住の16歳以上の市民3,500人（無作為抽出） H21年度有効回収率：1,461件（41.7%） H22年度有効回収率：1,519件（43.4%）	H21-1回 H22-1回	地域福祉に関する市民の認知状況について周知を図ることができた。 「地域福祉計画」または「地域福祉活動計画」を知っていましたか。 1. よく知っていた……………3.8% 2. 少しは知っていた……………17.0% 3. ほとんど知らなかった……………28.6% 4. 知らなかった……………48.4% 5. 無回答……………2.6%

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	市及び社協ホームページに地域福祉に関する情報を掲載及びホームページの周知	更新掲載回数 0回→毎月1回	40
【2】	市及び社協ホームページに地域における福祉活動の情報を掲載及びホームページの周知	掲載地区数 2地区→33地区	40
【3】	地域福祉に関するアンケート（内容の充実）を実施し、市ホームページで掲載	実施回数 1回→1回	20

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 6月20日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 岡本・森
				社協	地域福祉課 松永・川尻

基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	1	地域福祉の考え方をひろげよう	施策の細目	②	広報手段の活用・充実	
取り組み内容	5	広報紙（広報させば、社協だより）を通じて地域福祉の情報提供の機会の確保に努めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	4回	5回	5回	6回	6回

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	社協だよりに福推協活動を掲載	H21-3地区 H22-3地区	・地域の情報が周知できてきている。 ・内容に独自性が薄い。
2	社協だよりに委員会・会議の開催状況を掲載	H22-1回	・市民のどれだけの人が読んでいるか、紙面の見やすさはどうかの検証ができていない。
3	広報させばに地域福祉に関する情報やイベント情報を掲載	H21-2回 H22-1回	・地域福祉に関する特集を組むなど、市民の意識作りに関して一定貢献した。
4	社協だよりに地域福祉・ボランティア活動を掲載	H21-3回 H22-3回	・市民のどれだけの人が読んでいるか、紙面の見やすさはどうかの検証ができていない。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協だよりに福推協活動を掲載する。	掲載地区数 3地区→33地区	50
【2】	広報させば及び社協だよりに委員会・会議の開催状況を掲載する。	掲載回数 市・社協 (各2回)	20
【3】	広報させばに地域福祉に関する専用スペースを設ける。	毎月掲載 0コーナー→1コーナー	20
【4】	社協だよりに地域福祉・ボランティア活動を掲載する。	3回→3回	10

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 6月20日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 岡本・森
				社協	地域福祉課 松永・川尻

基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	1	地域福祉の考え方を広げよう	施策の細目	③	次世代のための意識と機会づくり	
取り組み内容	7	福祉用具の体験や、高齢者・障がい者の方々との交流などの機会を通じて、子どもたちの福祉についての意識啓発を図るとともに、「自分は地域の一員」という意識のある小中学生が増えるように努めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	基礎調査	基準値 +5%	前年比 +5%	前年比 +5%	前年比 +5%

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	小・中学校の福祉教育（体験学習など）に講師として協力した。	H21-11校 1,292人 H22-8校 714人	・体験中心であり、福祉意識の定着までは十分できていない。
2	福祉教育出張チラシを作成し、市内小学校・中学校に配付した。(H22.8)	1回 78校	・チラシを見ての問い合わせが3件あり、体験学習の実施につながった。
3	夏休みを利用し、小・中学生を対象とした福祉用具体験学習を行った。(H21.8)	H21-7日間 延べ139人 H22-6日間 延べ133人	・体験を通して、思いやりの心を育むことにつなげている。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	学校側にどのような支援が必要であるのかの調査（ヒアリング）を実施する。	0校→78校	40
【2】	学校側が福祉教育を推進していけるよう支援する。	0校→26校	30
【3】	小・中学校の福祉教育（体験学習など）への講師派遣を継続する。また、NPO・ボランティアとの横のつながり、連携の在り方を検討していく。	8校→26校	10
【4】	社協のホームページに福祉用具体験などの様子を掲載する。	0回→2回	10
【5】	夏休みを利用し、小・中学生を対象とした福祉用具体験学習を行う。	6日間→6日間	10

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 6月20日		
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 岡本・森	
				社協	地域福祉課 松永・川尻	

基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	2	住民自らの行動を推進しよう	施策の細目	①	活動の場と参加しやすい雰囲気づくり	
取り組み内容	8	デイクラブやふれあいいきいきサロンなどの住民による交流の場づくりを推進し、その参加者が増えるように努めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	基礎調査	基準値 +5%	前年比 +5%	前年比 +7%	前年比 +7%

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	福祉協へサロンについての情報提供等を行い、新たなサロン開設を支援した。	3地区 (5ヶ所)	・サロン活動に関わる中でニーズキャッチの場となった。 ・自主運営ができる体制をつくっていくことが必要である。
2	サロン等遊具の貸し出しについて、社協だより、ホームページでその周知をした。	1回 (H23.2)	・社協だよりを見ての問い合わせがあり、貸し出しに結びついた。 ・遊具の利用によって、サロン等の内容が充実された。
3	デイクラブの紹介を介護保険サービスガイドに掲載を行い、市関係施設においてリーフレットの配布を行った。	配布場所 31ヶ所	・利用対象者への周知につながった。
4	デイクラブ未登録の老人クラブへ職員が出向き、デイクラブの紹介を行い登録を提案した。	登録数 103	・登録団体への周知につながった。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	ふれあいいきいきサロンへのヒアリング調査及び分析を行う。	31ヶ所	20
【2】	各サロンに応じたメニュー開発の為の支援を行う。	31ヶ所	20
【3】	現在サロンが休止している江迎、吉井地区2ヶ所の再開を支援する。	2ヶ所	10
【4】	サロン遊具の貸し出しや社協だより、ホームページで周知を行う。	掲載回数 1回→2回	10
【5】	デイクラブの紹介を介護保険サービスガイドに掲載を行い、引き続き市関係施設においてリーフレットの配布を行う。(公民館(24)、社協(1)、包括(4)、長寿(2)、各支所(11)、行政センター(6))	配布場所 31箇所→48箇所	10
【6】	デイクラブ未登録の老人クラブへ職員が出向き、デイクラブの紹介を行い登録を提案する。	登録数 103→276	10
【7】	デイクラブ・サロンでの活動について、一元化を含め効率的で効果の高い方法を検討し、一定の結論を得る。	制度設計数 0→1	20

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 6月20日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	—
			社協	地域福祉課 松永・川尻	

基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう				
基本施策	2	住民自らの行動を推進しよう	施策の細目	②	地域組織による積極的な活動とNPOなどとの連携
取り組み内容	9	地域住民やNPOなどに、各地区の福推協が主催する住民座談会への参加を呼びかけます。			
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度
	社協	検討	実施		

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	ホームページで案内をした。 (早岐地区防犯防災フェスティバル、子育てサロンなど)	H22-2回	・住民座談会の実施ができていないので、福推協が実施する行事への参加の呼びかけのみとなっている。
2			
3			
4			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

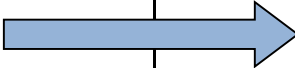
No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	ホームページを活用し案内する。	掲載地区数 1地区→33地区	50
【2】	地域の会議等で、福推協が主催する住民座談会等への参加を呼びかける。	33地区	50
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日		平成23年 8月22日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	—		
				社協	地域福祉課 松永		

基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	2	住民自らの行動を推進しよう	施策の細目	③	人材の確保	
取り組み内容	10	各地域の中で様々な分野で活動されている方々の情報を、リスト化するなどして把握し、それを活用した地域としての活動を広げていきます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	実施			見直し

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	地域で活動する人材の把握	40団体	ボランティアセンターに登録している団体・個人以外の把握ができていない。
2	地域福祉カルテの試行的実施 (黒島地区、天神地区)	2地区	地域のフォーマル・インフォーマルサービスを把握できた。
3			
4			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	今年度中に佐世保市にある福祉情報のデータベースを作成する。 (福祉分野の制度やサービス等を整理したもの。)	データベース完成	50
【2】	地域福祉カルテ(「地域福祉台帳」から名称変更)を作成し実態を把握する。(実施地区:天神地区・黒島地区)	作成地区数 2地区→33地区	50
【3】			
【4】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日	平成23年 8月22日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 川尻	

基本目標	地域福祉の考え方を広げ、一人ひとりの行動を推進しよう					
基本施策	2	住民自らの行動を推進しよう	施策の細目	③	人材の確保	
取り組み内容	11	ボランティア研修会などを実施し、幅広い世代の方々に地域福祉活動への積極的な参加を呼びかけます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	実施				

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	ボランティア研修会の中で地域福祉活動への参加を呼びかけた。	H21-3回 (22人) H22-2回 (45人)	・地域福祉についての具体的な説明はできていない。
2	話し相手ボランティア養成講座において地域福祉活動への参加を呼びかけた。	H21-1回 (19人) H22-1回 (25人)	・登録者の中には意識の高い人もいますが、地域の活動につなぎきれていない。
3			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	ボランティア研修会を開催し、地域福祉活動への参加を呼びかけるとともに、地域福祉について具体的な内容の説明を行う。	開催回数 1回→1回	50
【2】	地区担当者が、福推協総会・定例会、生涯学習推進協議会等に出席して、地域福祉についての説明を行う。	実施地区数 0地区→33地区	50
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日		平成23年 8月22日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森・岡本		
				社協	地域福祉課 川尻		

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につながる地域をつくろう					
基本施策	1	地域内で連携し、情報を共有しよう	施策の細目	①	地域住民による情報収集の促進	
取り組み内容	12	災害時に、支援が必要な方々にどのような支援を行い、当事者の方々自身はどのように行動すべきかを示す「災害時福祉行動マニュアル（仮称）」の作成を進めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	検討	検討	作成	検証	見直し

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	市社協災害救援活動マニュアル策定	5回 (会議)	・行政との情報共有ができた。 ・策定後の職員の動きについて議論ができなかった。 ・初動体制の具体的な活動について明記できなかった。
2	災害時福祉支え合いの手引き作成	1,200部	・配布及び説明を行うことが出来なかった。 ・配布及び説明を行う範囲を限定しすぎた。
3	佐世保市災害時要援護者支援制度の登録等 新規・廃止・変更の作業を行った	登録数 H23.3.31 2,897人	・登録台帳の整理を図った。
4	佐世保市災害時要援護者支援制度における民生委員の引き継ぎ及び確認	H22.11 3,200件	・民生委員の交代に伴う引き継ぎができた。 ・見守り体制の充実が図られた。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	いきいきサロン及びネットワーク支援者のつどい、食事サービスにおいて災害時福祉支え合い手引きの説明を行う。	実施地区 0→33地区	30
【2】	「災害時福祉行動マニュアル（仮称）」（案）の作成（全体計画） （23年度(案)の作成・24年度作成・25年度実施）	1計画	70

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容
【2】	災害時要支援者それぞれの個別支援にあたっては、地域との連携が必須であり、実効性のあるものを構築していく必要がある。

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日		平成23年 8月22日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	—		
				社協	地域福祉課 松永		

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	1	地域内で連携し、情報を共有しよう	施策の細目	①	地域住民による情報収集の促進	
取り組み内容	13	「ふれあいネットワーク」の周知と機能の強化を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	実施				

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	地区民児協勉強会への職員派遣 (日宇・江迎)	2地区	・ネットワークについての地域での課題 (協力者不足)について現状を知ることが できた。
2	H22.11に民生委員児童委員を対象に、状況把握 のためのアンケートを実施した。	回答者 427人	・ネットワークの現状把握ができ、今後 の展開の参考にすることができる。
3	福推協会長連絡会においてネットワーク協力者 による情報交換会の実施を推奨した。	1回	・地区担当職員による関わりの強化につ ながった。 ・協力者の負担増につながるから実施で きないという実態もあった、

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	西天神町公民館・社協の協働により、福祉サポーター（福祉協力員から名称変更。希望世帯への訪問による安否確認、見守り活動をする人。）のモデル実施。また、ふれあいネットワークと福祉サポーターの整理を行いながら統一した取り組みとなるように進めていく。 ※モデル地区（天神地区西天神町公民館1区） ※福祉サポーターは民生委員との兼任は無し・原則2名体制で訪問	1地区	50
【2】	地域福祉推進委員会(社協)にアンケート結果を報告し、対応策を検討する。	—	50

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 8月22日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	—
				社協	地域福祉課 川尻

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につながる地域をつくろう					
基本施策	1	地域内で連携し、情報を共有しよう	施策の細目	②	地域住民と専門機関による連携の促進	
取り組み内容	14	地区ごとに「地域コミュニティケア会議（仮称）」を実施し、市、社協、事業者のほか、地域の活動団体や民生委員・児童委員などを含めた、地域を切り口とした多様な主体によるネットワーク化の促進を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	調整	モデル地区 設置 (3地区)	3地区	6地区	6地区

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	三川内地区をモデル地区指定し、説明会を実施。民生委員・児童委員、町内会長、老人クラブ、デイクラブの代表者の他、地区内の高齢者支援機関（ホームヘルプ事業所、介護事業所、高齢者支援センター）にも参画してもらい、地域の課題について協議した。	全体会 4回 小委員会 4回 打合せ 5回	・社協、包括で主導したため、地域が主体的に動いていくという意識が薄い。 ・地域住民だけでなく、専門機関との関係づくりができた。 ・三川内地区コミュニティケア会議と福推協との関係について整理が必要。
2	福推協会長連絡会で活動状況の報告を行った。(H22.3.9)	1回	・他地区へ周知することが出来た。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	三川内地区の取り組みを検証し、今後のあり方を検討する。	検証及び検討	40
【2】	三川内地区の取り組みの検証結果を基に継続して実施する。	継続	10
【3】	「地域コミュニティケア会議（仮称）」の実施を推進する。	開催地区数 1地区→2地区	50
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 8月22日	
担当部会	A	意識づくり部会	担当者	市	—
				社協	地域福祉課 松永

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	1	地域内で連携し情報を共有しよう	施策の細目	②	地域住民と専門機関による連携の促進	
取り組み内容	15	各分野においてサービスを提供する事業所の方々を対象に、地域福祉の必要性や各分野の制度・サービスを学ぶための講演会や研修会を実施します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	1回	2回	3回	3回 (見直し)

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	福祉人材バンクの研修会において地域福祉の考え方を説明する時間を設けた。	1回	・地域福祉について考えるきっかけを提供できた。
2	地域包括ケア会議（居宅介護事業所が参加）において地域福祉計画やふれあいネットワークなどの説明をした。	7回	・地域の団体や活動について周知することができた。 ・個別ケースを地域と連携して解決するに情報の共有の仕方が難しい。
3			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

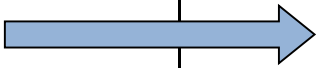
No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	地域包括ケア会議に社協地区担当職員が出席し、地域福祉の必要性について随時説明を行う。	包括ケア会議（4地区）において適宜説明を行う。	50
【2】	福祉サービス事業者に地域福祉講演会（11月14日）への参加を呼びかける。	0回→1回	50
【3】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日	平成23年 7月14日
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	—
				社協	地域福祉課 永安

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	2	みんなが相談しやすい地域をつくろう	施策の細目	①	身近な相談相手づくり	
取り組み内容	16	身近な生活範囲ごとに、その範囲内に暮らす支援が必要な方々の見守りや声かけなどを行う『福祉協力員』の役割を果たす人の発掘に取り組みます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	モデル地区 実施	実施		

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	社協内部で『福祉サポーター』（福祉協力員から名称変更）についての協議を行った。 ※福祉サポーター：希望があった人への訪問や見守り活動をする人（民生委員との兼任は原則無し・2名体制で訪問）	H21：8回 H22：7回	・位置づけや役割、活動内容について一定の整理ができた。
2	市社協地域福祉推進委員会において、福祉サポーターの役割や活動内容について協議を行った。	H21：1回 H22：1回	・位置づけや役割、活動内容について一定の整理ができた。
3	モデル地区を選定し公民館長や民生委員への福祉サポーターについての説明をした。 （モデル地区：天神地区西天神町公民館1区）	H22：2回	・活動内容について理解を得た。 ・モデル地区の現状を把握することができた。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	モデル地区で福祉サポーター説明会及び養成講座を実施し、福祉サポーターを設置する。	福祉サポーター数 0人→10人	50
【2】	民生委員と連携して訪問先の意向調査を実施し、福祉サポーターの活動を開始する。	活動開始の有無	30
【3】	福祉サポーターによる状況報告や意見交換会を実施する。	実施回数 0回→2回	20
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 7月14日	
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森・岡本
				社協	地域福祉課 永安

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	2	みんなが相談しやすい地域をつくろう	施策の細目	②	相談窓口の充実	
取り組み内容	17	住民が身近に感じる地域の中に、相談窓口が設置されることを推進します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	基礎調査	検討	モデル地区 実施	実施	見直し

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	社協内部で『福祉サポーター』（福祉協力員から名称変更）についての協議を行った。 ※福祉サポーター：希望があった人への訪問や見守り活動をする人（民生委員との兼任は原則無し・2名体制で訪問）	H21：8回 H22：7回	・位置づけや役割、活動内容について一定の整理ができた。
2	市社協地域福祉推進委員会において、福祉サポーターの役割や活動内容について協議を行った。	H21：1回 H22：1回	・位置づけや役割、活動内容について一定の整理ができた。
3	モデル地区を選定し公民館長や民生委員への福祉サポーターについての説明をした。 （モデル地区：天神地区西天神町公民館一区）	H22：2回	・活動内容について理解を得た。 ・モデル地区の現状を把握することができた。
4			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	モデル地区において公民館だより・社協だよりを活用し、福祉サポーターの広報活動を行う。	実施回数 0回→4回	60
【2】	モデル地区において福祉サポーターが相談を受ける。	1組（2名体制）で 5人以上の 相談を受ける	40
【3】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 7月14日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森・岡本	
				社協	地域福祉課 永安	

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につながる地域をつくろう					
基本施策	2	みんなが相談しやすい地域をつくろう	施策の細目	②	相談窓口の充実	
取り組み内容	18	広報活動を通じて、相談窓口の認知度の上昇を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	基礎調査	前年比 +5%	前年比 +5%	前年比 +7%	前年比 +7%

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	社協ホームページで総合相談窓口を紹介した。	H22.4 1回	・市民にどの程度周知できたかの検証ができていない。
2	関係機関との会議の場で総合相談窓口をPRした。 ※社会福祉士会・精神保健福祉士会・司法書士会・地域包括ケア会議・自立支援協議会	H22 15回	・関係機関担当者に総合相談窓口のPRができた。
3			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協ホームページ・社協広報紙で総合相談窓口について掲載する。	掲載回数 1回→6回 (社協ホームページと 広報紙)	40
【2】	関係機関、団体との会議の場で総合相談窓口をPRする。 ※社会福祉士会・精神保健福祉士会・司法書士会・地域包括支援センター・自立支援協議会、当事者団体等	実施回数 15回→20回	60
【3】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日	平成23年 7月14日	
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 永安	

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	2	みんなが相談しやすい地域をつくろう	施策の細目	②	相談窓口の充実	
取り組み内容	19	総合相談窓口について検討し、開設を目指します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	開設	→		

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	H21年4月に社協地域福祉課に総合相談窓口となる総合相談班を設置し窓口を開設した。	H22相談件数 5,884件	・身近な相談窓口として周知できているかの検証ができていない。 ・来談者の相談までの流れがスムーズになった。
2			
3			
4			
5			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	今年度中に佐世保市にある福祉情報のデータベースを作成する。 (福祉分野の制度やサービス等を整理したもの。)	データベース完成	50
【2】	相談件数を増やす。	前年比+10%	20
【3】	相談内容の分析を行う。	分析結果を出す	30
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日		平成23年 7月14日	
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森・岡本		
				社協	地域福祉課 永安		

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	3	ふれあい、交流の場をつくろう	施策の細目	①	気軽に集まれる場所づくり	
取り組み内容	20	デイクラブやふれあいいきいきサロンの実施場所の増加を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	130カ所	200カ所	276カ所	検証	見直し

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	福推協へサロンについての情報提供等を行い、新たなサロン開設を支援した。	3地区5カ所 H22 全57ヶ所	・サロン活動に関わる中でニーズキャッチの場となった。 ・自主運営ができる体制をつくっていくことが必要である。 ・開設までのマニュアルが必要である。 ・参加者と同様にボランティアの確保が課題である。
2	サロン等遊具の貸し出しについて、社協だより、ホームページでその周知をした。	1回 (H23.2)	・社協だよりを見ての問い合わせがあり、貸し出しに結びついた。 ・遊具の利用によって、サロン等の内容が充実された。
3	デイクラブの紹介を介護保険サービスガイドに掲載を行い、市関係施設においてリーフレットの配布を行った。	配布場所 31ヶ所	・利用対象者への周知につながった。
4	デイクラブ未登録の老人クラブへ職員が出向き、デイクラブの紹介を行い登録を提案した。	登録数 103ヶ所	・登録団体への周知につながった。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	福推協会長連絡会や定例会でふれあいきいきサロンの開設を働きかける。	33地区	10
【2】	ふれあいきいきサロンへのヒアリング調査及び分析を行う。	31ヶ所	20
【3】	現在サロン活動が休止している江迎、吉井地区2カ所の再開を支援する。	活動再開 2カ所	20
【4】	デイクラブの紹介を介護保険サービスガイドに掲載を行い、引き続き市関係施設においてリーフレットの配布を行う。(公民館(24)、社協(1)、包括(4)、長寿(2)、各支所(11)、行政センター(6))	配布場所 31箇所→48箇所	10
【5】	デイクラブ未登録の老人クラブへ職員が出向き、デイクラブの紹介を行い登録を提案する。	登録数 103→276	10
【6】	デイクラブ・サロンでの活動について、一元化を含め効率的で効果の高い方法を検討し、一定の結論を得る。	制度設計数 0→1	30

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容
【1】	各地区での働きかけの際は映像(ビデオ資料)による説明を行うことにより理解を深める。
【3】	自治会長等及び民生委員、ボランティアを配布対象としたマニュアルにする。

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 7月14日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森・岡本	
				社協	地域福祉課 永安	

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	3	ふれあい、交流の場をつくろう	施策の細目	①	気軽に集まれる場所づくり	
取り組み内容	21	地域内の公民館や空き店舗などを利用し、「地域のお茶の間づくり（仮称）」と題した地域内での交流の場所づくりを推進します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	検討	検討	モデル実施	実施	見直し

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	検討していない。	—	—
2			
3			
4			
5			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法


No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	先進地視察を行う。	視察実施	50
【2】	実施場所の調査を行う。	調査実施	50
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日		平成23年 8月 5日	
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	—		
				社協	地域福祉課 永安		

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	3	ふれあい、交流の場をつくろう	施策の細目	②	コミュニケーションの場の活用	
取り組み内容	22	福推協と連携したあいさつ、声かけ運動を推進します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検討	実施			

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	検討していない。	—	実態把握ができていない。
2			
3			
4			
5			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	現状調査に向けて聞き取り項目や内容を整理する。	項目決定	20
【2】	現状調査を実施する。	調査地区数 0地区→33地区	50
【3】	調査結果を分析し、次年度以降の推進方法を検討する。	分析及び検討	30
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日		平成23年 8月 5日	
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森・岡本		
				社協	地域福祉課 永安		

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につながる地域をつくろう					
基本施策	4	気軽にサービスを利用できるようにしよう	施策の細目	①	サービスの情報提供の充実	
取り組み内容	23	視覚、聴覚に障がいがある方などにも配慮しながら、ホームページや広報誌などを利用した、サービスについての情報提供の充実に努めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	実施				見直し

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	社協だよりの発行による情報提供を行った。 ※視覚障がい者へ「声の社協だより」を発行した。	H21：3回 H22：3回	「声の社協だより」は新規利用者発掘のためのPRができていない。
2	ボランティア情報誌の発行による情報提供を行った。 ※視覚障がい者へ「点訳版ボランティア情報誌」を発行した。	H21：7回 H22：7回	「点訳版ボランティア情報誌」は新規利用者発掘のためのPRができていない。
3	社協ホームページにて地域福祉に関する行事や事業の案内及び報告などの情報提供を行った。	新着情報 掲載件数 H22：20件	文字を大きくすることで見やすくし、一定の便宜を図ることができた。
4	・福祉サービスに関する情報を市ホームページで提供 ・「探しやすい、わかりやすい」をコンセプトに、ホームページのレイアウトやデザイン等の一部見直しをH23.3.26に実施 ・各種情報への入口の配置や表現の見直し ・トップページに総合的な行政情報への入口「目的から探す」を配置 (以前のHPにあった「市民の方へ」をトップページに集約している) ・市の重点的な取り組みをお知らせする場所を配置	保健福祉部 コンテンツ アクセス件数 H21年 704,129件 H22年 872,055件	福祉サービスに関する情報を提供し、一定の便宜を図ることができた。
5	・市ホームページを音声で読み上げるソフト「WebUD（ウェブユデー）」をH20.7から掲載（WebUD：文章の音声読み上げ、文字や図の拡大・縮小、漢字に読み仮名をふる、文字色や背景色の変更機能等） ・WebUDのダウンロードおよびインストール（無料配布）の手順も掲載している。	WebUD紹介 コンテンツ アクセス件数 H21年 2,022件 H22年 1,532件	・視覚障がい者への情報提供について、一定の便宜を図ることができた。 ・WebUDの実ダウンロード数は把握できていない。 (*H23.5.12現在 障がい者手帳をお持ちの方 視覚障がい者1,031人 聴覚障がい者1,091人)
6	広報させばに健康と福祉のページを設けている。	年12回 (毎月4ページ 約20項目)	厳選した情報でお届けすることとしており現行が望ましい。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	声の社協だよりのサンプルテープ・CDを社協(1)と老人福祉センター(3)へ設置し、市民（福祉団体等）への周知を行う。	設置場所 0→4箇所	30
【2】	視覚障害者協会会員に、ボランティア情報誌（点訳分）の送付についての希望調査を行う。	実施回数 0回→1回	50
【3】	市ホームページをH23.3に見直しており、当面は現行のレイアウト等を維持する。	保健福祉部 コンテンツアクセス件数 前年比+10%	20

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

作成基準日 平成23年 8月 5日

担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森・岡本
				社協	地域福祉課 永安

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につながる地域をつくろう				
基本施策	4	気軽にサービスを利用できるようにしよう	施策の細目	②	サービスを適性に受けられる機会の確保
取り組み内容	24	成年後見制度および日常生活自立支援事業についての周知を図ります。			
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度
	市 社協	実施			
					25年度
					見直し

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	社協ホームページで日常生活自立支援事業を紹介した。	H22.4 1回	市民にどの程度周知できたかホームページへのアクセス件数が把握できていない。
2	関係機関との会議の場で日常生活自立支援事業をPRした。 ※社会福祉士会・精神保健福祉士会・司法書士会・地域包括ケア会議・自立支援協議会	H22 15回	関係機関担当者に日常生活自立支援事業のPRができた。
3	関係各課が、必要に応じて成年後見制度についての周知を行っている。	—	各課における個別の対象者に対して、市の制度を活用する上での周知が図られている。
4	市ホームページで、成年後見制度に関する周知を行っている（長寿社会課）	アクセス件数 H21：356件 H22：203件	市の制度を活用しない方でも、その可能性のある方について、一定の周知が図られている。

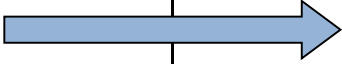
2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	社協ホームページ・広報紙で日常生活自立支援事業について掲載する。	掲載回数 1回→6回	20
【2】	関係機関、団体との会議の場で日常生活自立支援事業をPRする。	実施回数 15回→20回	30
【3】	成年後見制度について、制度の概要を含め各課における説明マニュアル等を作成し関係各課への周知を図る。 現在制度の案内を市民に対して行っている担当課：長寿社会課・障がい福祉課	部内各課への周知 0課→10課	40
【4】	引き続き、ホームページによる周知を行う。	成年後見制度 アクセス件数 前年比+10%	10

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 8月 5日		
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森・岡本	
				社協	地域福祉課 永安	

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	4	気軽にサービスを利用できるようにしよう	施策の細目	②	サービスを適性に受けられる機会の確保	
取り組み内容	25	福祉サービスにかかる苦情相談体制の充実を図ります。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市 社協	検討	実施			見直し

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	平成13年度から社協は苦情解決実施体制を整備し、市民及び利用者の福祉サービスに対する苦情を受け付けている。(窓口受付分)	苦情件数 H21:2件 H22:3件	市民及び利用者の福祉サービスに対する不満を把握し、福祉サービスの質の向上に役立っている。
2	平成19年度から窓口アンケート調査を行い、市民の福祉サービス、窓口・施設サービスに対する不満の状況を把握している。	回収実績 H21:1,318票 H22:1,041票	市民の福祉サービスに対する不満を把握し、苦情への対応・相談に役立っている。
3			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	前年度の苦情に対する解決結果を社協ホームページ及び社協だよりで公開する。	実施回数 0→2回	30
【2】	サービス向上委員会を開催し、苦情があった場合には迅速に対応する。	委員会の開催 迅速な対応	30
【3】	引き続き窓口アンケートを継続し、市民の福祉サービスへの苦情の把握に努める。	回収実績 前年比+10%	40

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日		平成23年 8月 5日	
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森・岡本		
				社協	-		

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	4	気軽にサービスを利用できるようにしよう	施策の細目	③	サービスの評価体制の確立	
取り組み内容	26	利用者によるサービス評価制度の導入について検討します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市	基礎調査	検討			

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	検討していない。	—	—
2			
3			
4			
5			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	市として行うべき事項の可能性について検討する。	検討	—

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 8月 5日	
担当部会	B	地域づくり部会	担当者	市	保健福祉政策課 森・岡本
				社協	—

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	4	気軽にサービスを利用できるようにしよう	施策の細目	③	サービスの評価体制の確立	
取り組み内容	27	第三者評価機関を持つ事業者数ならびにその公表を行っている事業者数が増えるように努めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	市	基礎調査	基準値 +5%	前年比 +5%	前年比 +5%	前年比 +5%

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	検討していない。	—	—
2			
3			
4			
5			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	市として行うべき事項の可能性について検討する。	検討	—

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 6月 6日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—
				社協	地域福祉課 青崎

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまろう	施策の細目	①	役割の明確化	
取り組み内容	28	福推協の推進員を対象に、組織の役割の再確認や「地区地域福祉活動計画」の実践に向けた研修会を実施します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	年3回	年3回	見直し	必要に応じて 実施	➡

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	福推協会長連絡会を実施した。 H21.4.27 28名参加 H22.2.10 29名参加 H23.3. 9 33名参加	H21 2回 H22 1回	・各福推協の活動内容、取り組み等の紹介を通じて情報交換や意見交換を行うことができた。また、お互い(福推協)を刺激するいい機会となった。 ・事務局側からの説明・紹介が中心で、各会長同士の意見交換や活動紹介、取り組みを発表してもらう時間が不足していた。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	福推協会長連絡会を実施する。	実施回数 年2回→年2回	40
【2】	福推協会長先進地、大分市へ視察研修を実施する。	実施回数 年0回→年1回	30
【3】	各地区で研修会(福推協の目的や役割等)を実施し、推進員の意識を高める。	実施地区数 0地区→31地区 年1回ずつ	30

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容
【1】	各地区会長同士の意見交換が十分できるように時間を設ける。

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日		平成23年 6月 6日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—		
				社協	地域福祉課 青崎		

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にとまろう	施策の細目	①	役割の明確化	
取り組み内容	29	「社協だより」や「福推協だより」を通じて、福推協の役割や活動内容について周知するとともに、地域住民も福推協を構成する一員であるという意識づくりに努めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	実施				

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	福推協だよりを発行し、役割や活動内容を地域住民に周知した。	8地区	<ul style="list-style-type: none"> 福推協だよりを通じて役割や活動内容を周知することができた。 新規の取り組みのため地区の温度差がある。
2	「社協だより」において「福推協通信」の欄を設け役割や活動内容、取り組み等について紹介した。 (6地区の活動を紹介) H21- 相浦、山手、早岐 H22- 九十九、中里皆瀬、三川内	年3回	<ul style="list-style-type: none"> 市民へ役割や活動内容、取り組みについてPRと紹介ができた。 市民にどの程度、周知ができたか検証が必要である。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	発行に向けての基本様式や作成手順等の情報提供を行う。	提供地区数 8地区→33地区	25
【2】	広報研修を実施する。	参加地区数 0地区→33地区	25
【3】	社協だよりにおける福推協活動の紹介を継続する。	掲載回数 年3回→年3回	30
【4】	社協ホームページで福推協活動等を掲載し、紹介する。 (市ホームページから社協ホームページへリンクしています)	掲載地区数 0地区→33地区	20

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 6月 6日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—
				社協	地域福祉課 青崎

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまるう	施策の細目	②	活動の活性化	
取り組み内容	30	「地区地域福祉活動計画」に基づく実践活動や、地域課題の把握とその解決のための取り組みなどについて検討するため、各地区の福推協の推進員による定例会の実施を支援します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	各地区4回	各地区4回	各地区6回	各地区6回	各地区8回

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	福推協による定期的な会議が実施された。	10地区	・定例的な会議が行事等をするための会議になっている部分もあり、地域の課題を十分検討できていない。
2	計画に基づく実践活動を支援した。 (定例会出席による事例・関係機関の紹介、サロン立ち上げ、福推協だより発行支援など)	11地区	・地区担当職員との連携が深まった。 ・地区担当職員によるはたらきかけが不十分な地区がある。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	総会とは別に定例的な会議を実施するよう働きかける。	実施地区数 10地区→33地区	40
【2】	地区担当職員による活動計画の進捗状況を整理し、実践に向けての具体的な計画（プランニング）を立てる。	整理地区数 10地区→31地区	30
【3】	地域課題把握とその解決のための手段としてコミュニティケア（仮称）会議の開催を支援する。	実施地区数 1地区→2地区	30

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 6月 6日		
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまるう	施策の細目	②	活動の活性化	
取り組み内容	31	福推協の役割や活動内容などをまとめた手引書を作成し、推進員の研修会や定例会などで周知して、地域福祉推進の担い手という意識を高めます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	作成作業	周知			

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	福推協の手引きの作成を行い、会長連絡会、福推協総会や定例会の際に配付し、説明を行った。 H22-中里皆瀬、春日、光園	H22.7月 1,000部作成	・福推協メンバーに改めて福推協の目的や役割を周知することができた。
2			
3			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	福推協活動の手引きを説明するための機会（定例会など）を全地区で確保する。	実施地区数 3地区→33地区	70
【2】	講師を招いての福推協推進員を対象とした研修会を開催する。	参加地区数 0地区→33地区	30
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日		平成23年 6月 6日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—		
				社協	地域福祉課 青崎		

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまるう	施策の細目	②	活動の活性化	
取り組み内容	32	福推協を構成する一員である地域住民に、「地区地域福祉活動計画」に基づく実践活動への参加を呼びかけます。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	—	実施			

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	早岐地区防災フェスティバルの開催についてチラシの作成・周知ができるよう支援した。 (毎年1回開催、H22で4回目)	早岐地区 1,000部	・フェスティバル当日に多くの地域住民の参加があった(250名)
2	福推協だよりの発行を通して地域住民への活動周知を図るよう支援した。 (早岐、木風、春日、中里皆瀬、相浦、吉井、世知原、小佐々)	8地区	・福推協だよりを通して、地域住民が福推協の活動を知る機会となった。
3	サロン立ち上げにあたってチラシを作成し、町内での周知を図るよう支援した。 (中里皆瀬地区 2町内会)	—	・計画実践のひとつの取り組みであるサロン活動を住民が知るきっかけとなった。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法


No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	福推協だよりの発行を通して地域住民の実践活動への参加を呼びかけるよう支援する。	発行地区数 8地区→33地区	50
【2】	社協だよりの発行、社協ホームページで福推協活動の紹介を行い、地域住民の実践活動への参加を呼びかける。(市ホームページから社協ホームページへリンクしています)	掲載回数 年3回→年3回 随時(ホームページ)	50

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

				作成基準日	平成23年 6月 6日
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—
				社協	地域福祉課 青崎

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう				
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまるう	施策の細目	③	社会福祉協議会との連携強化
取り組み内容	33	各福推協の活動状況や課題などについて情報交換を行う機会を設け、各福推協同士の連携強化と活動の活性化を支援します。			
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度
	社協	検討	実施		

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	福推協会長連絡会を実施した。 H21.4.27 28名参加 H22.2.10 29名参加 H23.3.9 33名参加	H21 2回 H22 1回	<ul style="list-style-type: none"> 各福推協の活動内容、取り組み等の紹介を通じて情報交換や意見交換を行うことができた。また、お互い(福推協)を刺激するいい機会となった。 事務局側からの説明・紹介が中心で、各会長同士の意見交換や活動紹介、取り組みを発表してもらう時間が不足していた。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	福推協活動の手引きを説明するための機会(定例会など)を全地区で確保する。	実施地区数 3地区→33地区	40
【2】	福推協会長連絡会を実施する。	実施回数 年2回→年2回	20
【3】	福推協会長先進地、大分市へ視察研修を実施する。	実施回数 年0回→年1回	20
【4】	講師を招いての福推協推進員を対象とした研修会を開催する。	参加地区数 0地区→33地区	20

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容
【2】	各地区会長同士の意見交換が十分できるように時間を設ける。

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 7月 4日		
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—	
				社協	地域福祉課 青崎	

基本目標	みんなの行動で、まわりの課題に早く気づき、解決につなげられる地域をつくろう					
基本施策	5	福祉推進協議会を中心にまとまろう	施策の細目	③	社会福祉協議会との連携強化	
取り組み内容	34	各地区担当の社協職員が、地域の実情や活動経過などを記載した「地域福祉台帳（仮称）」を整備し、その共有や検証を行うことによって福推協への関わりを強化します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	実施				

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	地区担当職員ごとに行動記録を作成し、各地区への関わりを随時記録した。 (宮、三川内、針尾、江上、広田、早岐、日宇、天神、木風、戸尾、光園、山手、春日、赤崎、九十九、中里皆瀬、相浦、黒島、吉井、世知原、小佐々、宇久、鹿町、江迎)	H22 24地区	・情報の共有、検証ができていない。
2	担当地区への関わり方や事例検討の方法などについて職員による研修会を実施した。 (H22.3.5 神戸学院大学 藤井博志氏)	1回	・事例検討の手法や担当者関係の情報の共有の仕方について学ぶことができた。
3			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	地域福祉カルテ（「地域福祉台帳」から名称変更）を作成して実態を把握し、福推協との関わり強化を図ります。（実施地区：天神地区・黒島地区） （地域福祉カルテの各地区福推協との共有）	作成地区数 2地区→33地区	60
【2】	職員での事例検討会を実施します。	実施回数 0回→5回	40
【3】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 7月 4日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—
				社協	地域福祉課 青崎

基本目標	みんなで地域福祉活動に取り組もう					
基本施策	1	地区ごとの地域福祉活動計画を実践しよう	施策の細目	①	地区地域福祉活動計画の周知	
取り組み内容	6	各地区の福推協による「福推協だより」などの広報紙の発行地区数の増加に向けて支援します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	6地区	7地区	8地区	9地区	10地区

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	福推協だよりの発行をはたらきかけ、編集などの支援をした。 (早岐、木風、春日、中里皆瀬、相浦、吉井、世知原、小佐々)	8地区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に福推協の活動をPRすることができた。 ・原稿作成や校正作業に福推協が主体となって取り組まれた。 ・ほとんどの地区が班回覧による発行のため、見てもらうための工夫が必要。
2			
3			
4			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	発行に向けての基本様式や作成手順等の情報提供を行う。	実施地区数 8地区→33地区	60
【2】	広報紙の作り方に関する研修会を実施する。	参加地区数 0地区→33地区	40
【3】			
【4】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 7月 4日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—
				社協	地域福祉課 青崎

基本目標	みんなで地域福祉活動に取り組もう					
基本施策	1	地区ごとの地域福祉活動計画を実践しよう	施策の細目	③	地区地域福祉活動計画の検証と見直し	
取り組み内容	35	検証方法を検討し、それに基づいた計画の進捗状況を検証します。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	検証方法 の検討	検証			

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	具体的な検証ができていない。		
2			
3			
4			
5			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法


No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	地域福祉カルテの作成を通して実態を把握するとともに、福推協とカルテの情報共有を行う。	作成地区数 2地区→33地区	50
【2】	モデル地区（潮見・白南風・早岐・柚木）から随時検証を進め、その支援をしていく。	検証地区数 0地区→4地区	50
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

（該当No.）	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 7月 4日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—
				社協	地域福祉課 青崎

基本目標	みんなで地域福祉活動に取り組もう					
基本施策	1	地区ごとの地域福祉活動計画を実践しよう	施策の細目	③	地区地域福祉活動計画の検証と見直し	
取り組み内容	36	進捗状況を踏まえながら地区ごとの地域福祉活動計画の見直しを行います。				
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	社協	—	—	—	実施	

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	具体的な見直しができている。		
2			
3			
4			
5			

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法


No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	福推協と社協の役割について明確にする。	整理実績	60
【2】	取り組み内容35の検証結果を基に実践に向けた見直しの支援を行う。 (見直しシートの作成・提案)	見直し地区数 0地区→4地区	40
【3】			
【4】			
【5】			

(2) 留意事項など

(該当No.)	内容

平成23年度 佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画 実践ワークシート【様式3】

			作成基準日	平成23年 7月 4日	
担当部会	C	福推協部会	担当者	市	—
				社協	地域福祉課 青崎

基本目標	みんなで地域福祉活動に取り組もう				
基本施策	1	地区ごとの地域福祉活動計画を実践しよう	施策の細目	②	地区地域福祉活動計画の実践
取り組み内容	3	各地区の福推協が主催する住民座談会の実施を支援し、地域住民に参加を呼びかけます。			
実施主体 および 年次計画	主体	21年度	22年度	23年度	24年度
	社協	検討	実施		
					25年度
					見直し

1. 平成21～22年度の実施結果

No.	具体的な内容	実績	成果や課題となったこと
1	ミニ地域福祉講演会 【H22.10.15】佐世保市役所黒島支所 講師：山本 主税氏（長崎国際大学）	参加者数 32人	・参加者へアンケートをとっていないため、良かったかどうかの検証ができていない。
2	地域福祉講演会（世知原福推協共催） 【H23.3.5】世知原社会福祉センター 講師：中野 信彦氏（長崎ウエスレヤン大学）	参加者数 77人	・参加者へアンケートをとっていないため、良かったかどうかの検証ができていない。 ・地域で実施されている活動（サロン、仲間づくり）について周知できた。
3	ホームページで情報を掲載し、PRした （早岐防災フェスティバル、子育てサロン）	H22 2回	・住民座談会の実施ができていないので福推協が実施する行事への参加の呼びかけのみとなっている。

2. 平成23年度の実施内容

(1) 具体的な内容と評価の方法

No.	具体的な内容	評価ポイント	配点
【1】	地区担当職員による活動計画の進捗状況を整理し、実践に向けての具体的な計画を支援する。	整理地区数 10地区→31地区	40
【2】	福推協が主催する住民座談会をはじめイベント、講演会等への参加を地域の会議等で呼びかける。	案内地区数 33地区	30
【3】	社協ホームページ及び社協だよりを活用し案内する。	掲載地区数 1地区→33地区	30
【4】			

(2) 留意事項など

（該当No.）	内容